調査データ

栃木県 2014年の観光客

前年比２％増の8711万人、過去最高に

県観光交流課まとめ

宿泊数は震災前に至らず

栃木県観光交流課によると、同県の2014年（1～12月）の観光客入り込み数は8711万5千人で、前年比2・0％増加（169万人増）し、過去最高となった。また観光客宿泊数は787万5千人で、同0・9％増（6万8千人増）と3年連続で増加したが、東日本大震災前の水準に回復するまでは至らなかった。

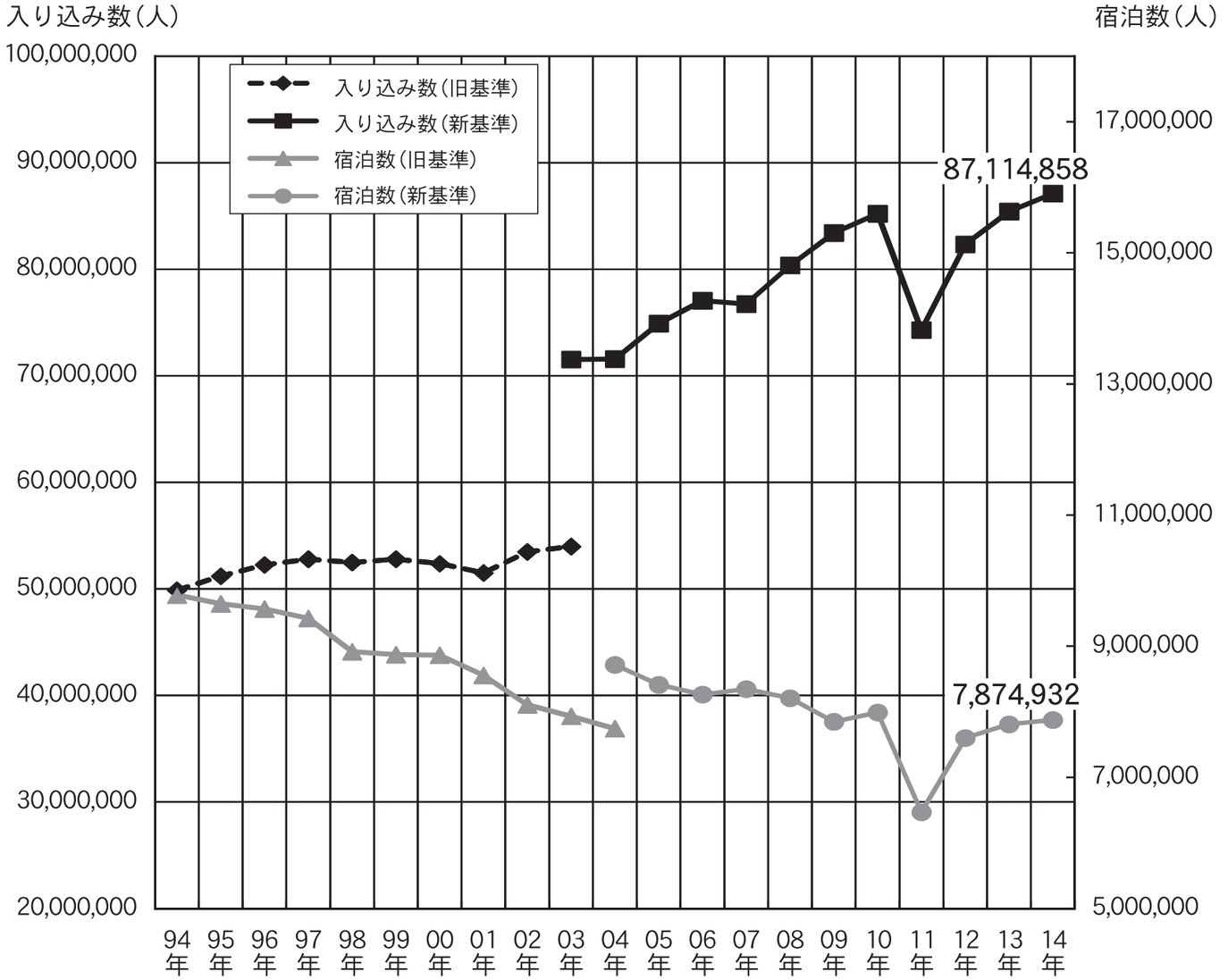
入り込み数を市町村別で見ると、宇都宮市が1417万人、県全体に占める割合が16・3％と最も多かった。次いで日光市の1074万5千人、那須塩原市の986万5千人増、栃木市が52万2千人増、宇都宮市が41万9千人増など、14市町で増加したが、12市町ではいまだ震災前の水準に回復していない。

観光客宿泊数は、特に主要観光地の日光市や那須エリアで震災前の8割台にとどまるなど、回復状況に地域差がある。

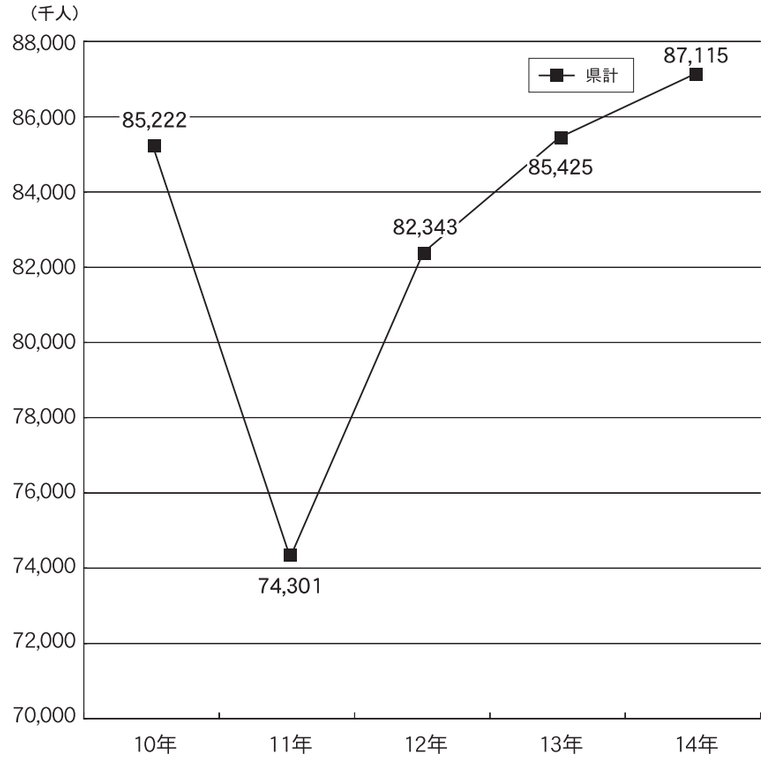
外国人宿泊数は14万6千人で、前年比15・6％増（2万人増）と、過去最高となった。

国・地域別内訳は、台湾、米国、中国（大陸）、タイ、韓国の順で多い。前年比では、台湾が7千人増、米国が5千人増など、韓国と中国を除くほとんどの国・地域で前年を上回った。

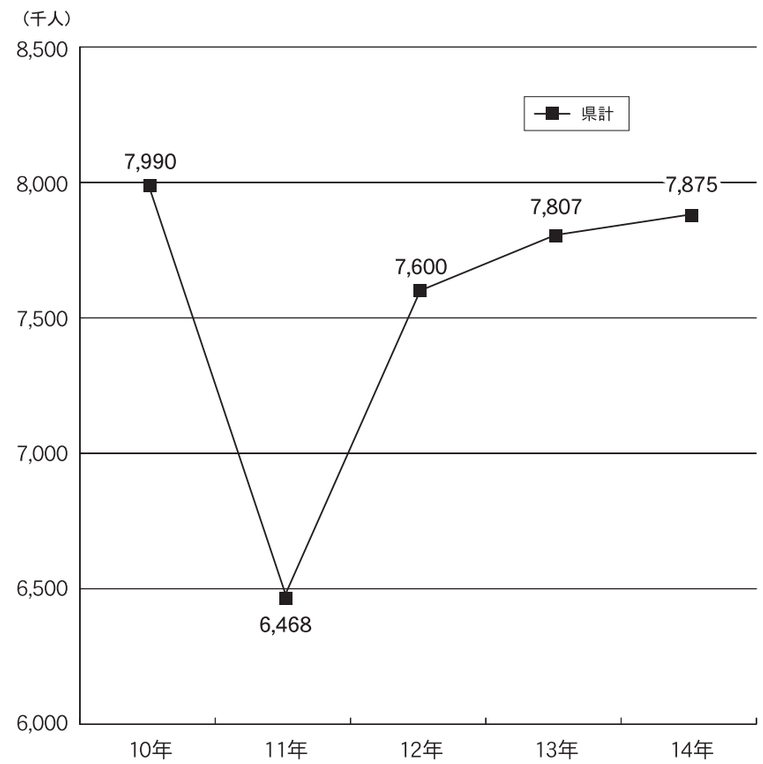
観光客入り込み数・宿泊数の推移（1994～2014年）



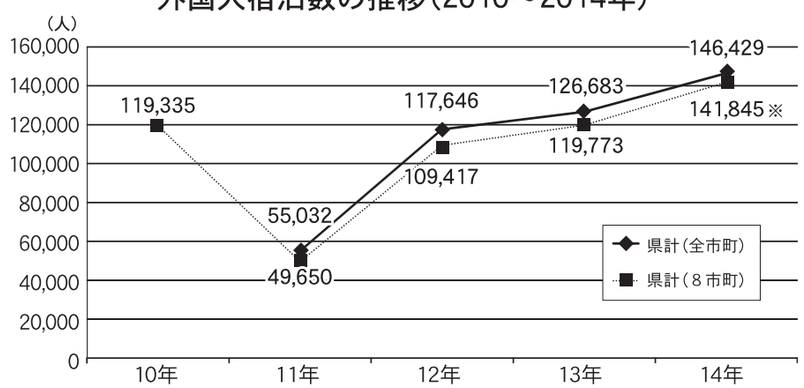
観光客入り込み数の推移（2010～2014年）

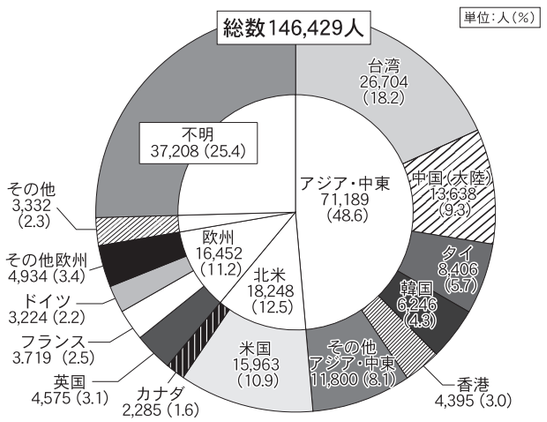


観光客宿泊数の推移（2010～2014年）



外国人宿泊数の推移（2010～2014年）



※2010年までの調査対象は８市町（宇都宮市、足利市、佐野市、日光市、那須塩原市、益子町、茂木町、那須町）
2011年からの調査対象は全市町

2014年国・地域別外国人宿泊数（構成比）